

第4章 まちづくりの課題

(1)まちづくりの課題

時代の潮流の変化やまちの実態調査等を踏まえた、本市のまちづくりの課題を整理する。

1) 土地利用に関する整備課題

①中心市街地の活性化と再編

市役所周辺は市の中心として公共・商業等の機能を集約し、都市拠点の構築を図ることが求められている。陣屋の雰囲気が残る神戸電鉄小野駅から小野商店街周辺にかけては、商業機能の維持存続と、居住空間・交流空間の形成による、にぎわいある街並みの形成が求められている。

②市街化区域周辺における市街化区域の機能補完

本市の市街化区域は、市全体の約6%である。限られた市街化区域では、成し得ることが困難な都市機能や、市街化区域が抱える課題等を、その周辺で補完する必要がある。市街化区域周辺の主要道路や市街化区域から近いという地理的優位性を活かした土地利用を検討し、市街化区域周辺における市街化区域の機能補完や課題解決が求められている。

③鉄道を活かしたにぎわいのあるまちづくり

本市の各駅は、交通結節点としての機能や、駅前広場や飲食店の立地による交流空間としての機能など、固有の地域資源や特性があり、それらを活かしたまちづくりが求められている。

④浄谷黒川丘陵地における土地利用の推進

浄谷黒川丘陵地においては、ごみ処理施設の整備や、将来の小野市の財政基盤を支える新たな産業団地の整備など、次世代にわたる都市基盤の構築となり得る多角的な土地利用を図ることが求められている。

⑤田園地域におけるコミュニティの維持

本市らしさである田園風景を保ちつつ、空き地や空き店舗等を利活用し、集落地における生活利便施設を誘導することで、地域コミュニティの維持向上を図ることが求められている。

⑥都市計画区域外における適正な土地利用規制の推進

市域東部に広がる都市計画区域外においては、自然と共生したくらしを守るために、適正な土地利用による、自然環境の保全と既存集落の維持が求められている。

2) 都市施設整備に関する整備課題

①生活道路網の再整備

中心市街地等における狭隘道路の拡幅整備や道路補修、通学路や歩行者優先道路等の安全確保による生活基盤や防犯・防災基盤の強化が求められている。

②神戸電鉄小野駅周辺等の広場・道路の環境整備

神戸電鉄小野駅周辺等における広場や公園の整備や、安全な歩行空間の確保など、快適な交通環境の整備が求められている。

③子どもや高齢者等が利用しやすい公共交通の構築

らんらんバスの運行時間やルート等の見直しや、デマンド交通の充実、また、交通バリアフリーの向上等を図り、子どもや高齢者等が利用しやすい公共交通の構築が求められている。

④水道施設・管路の耐震化推進

災害に強い水道施設及び管路となるよう耐震化の推進が求められている。

⑤下水道の整備促進

市街化区域の内水浸水想定区域等における雨水排水施設整備の促進が求められている。

⑥公共機能の最適化・広域連携の検討

本市が有する公共機能を市役所周辺のエリアに集約し利便性を向上させるとともに、近隣地域との連携を深め、ごみ処理施設などの広域的な課題解決に向けた公有地の有効活用の検討などが求められている。

3) 水と緑のネットワーク・景観形成に関する整備課題

①公園・広場の整備

市街地や集落地等において、地域住民の憩いや交流の場となる公園・広場の確保が求められている。市街地や集落地等における緑地や公園の拡充を図り、身近に自然を感じられる空間を整備するとともに、防災機能を兼ね備えた広場を設け、安全で安心な生活環境の提供が求められている。

②中心市街地における魅力的な都市景観（まちなかの緑）の形成

市街地に花と緑を確保し「まちなかの緑」を創出することで、自然を身近な存在として感じられる都市景観を形成し、住民の心の豊かさを確保することが求められている。

③郷土の街並み景観の形成

集落地を取り巻く緑豊かな田園風景や、陣屋のまちとして栄えた小野商店街のレトロな趣など、本市らしい郷土の街並み景観の形成と保全が求められている。

④郷土の田園景観や農業生産環境の保全

田園地域における田園環境の維持と、優良農地をはじめとした農業生産環境の保全が求められている。

⑤郷土の里山景観・自然環境の保全と活用

市内に広がる森林環境や里山景観などの自然環境の保全を図りつつ、適切な利活用を図ることで自然災害に強い地域づくりを目指すことが求められている。

4) 市街地整備・住宅地整備に関する整備課題

① 中心市街地の再整備

神戸電鉄小野駅から小野商店街にかけての中心市街地においては、商業用地としての機能と住宅地の混在が見られるため、商業用地と住宅用地との調和が図られた市街地の再生が求められている。

② 周辺市街地での計画的な住宅地整備の検討

周辺市街地においては、市街地から近く道路網が整備されている地理的条件等を活かし、自然環境や農業生産環境の保全に配慮しつつ、良質な住宅地等を計画的に整備することで、快適で利便性の高い住環境の創出が求められている。

③ 小野長寿の郷構想の推進と住宅地整備の検討

小野長寿の郷構想に基づき、医療・健康・福祉機能の充実を図る。また、小野工業団地やひょうご小野産業団地等で働く就労者や新規居住者等の、住宅地の確保と整備が求められている。

④ 住宅地の整備促進

老朽化が進む公営住宅の建替えや集約を進める中で、子育て世帯や高齢者等に配慮した住宅地の選定・供給が求められている。

5) 都市防災に関する整備課題

① 木造密集市街地の再整備

神戸電鉄小野駅周辺の密集市街地では、本市らしさであるレトロな陣屋の街並みの雰囲気を持続しつつ、木造老朽建築物の更新などの対策を講じることが求められている。

② 都市計画道路・生活幹線道路の整備促進

市街地等において、適切な都市計画道路の計画・整備や、消防等の緊急車両の通行や非常時の避難・救援のための生活幹線道路の狭隘道路及び未舗装道路の解消を図り、都市の防災性能を向上することが求められている。

③ 防災拠点・体制の充実

災害発生時における避難路・避難地を確保するとともに、ミズベ^{ミズベ}ステーション等の地域防災拠点の整備を図り、救援・救護、復旧活動の拠点となるよう、防火水槽や耐震性貯水槽などの防災施設の充実を図ることが求められている。

④ 自然災害に対する備えの充実

浸水想定区域や土砂災害警戒区域など自然災害に対する危険性の高い地域では、河川や山林の整備等のハード対策を進めるとともに、避難体制の整備や防災意識の高揚などソフト対策の充実を図ることが求められている。

6) その他の整備課題

①安全・安心のための環境整備

鉄道駅周辺や住宅地において、住民間交流を促すまちづくりを進めることで地域コミュニティの活性化による防犯対策の強化を図るとともに、街路灯の増設など防犯施設の充実など、安全・安心な居住環境の創出が求められている。

また、公共公益施設や道路等へのバリアフリーやユニバーサルデザインの導入や、通学路の安全性の向上など、あらゆる市民が安全・安心に生活できる環境を整えることが求められている。

②田園地域におけるまちづくり計画の検討

人口減少や少子高齢化が進む田園地域の集落地等において、適正な土地利用規制による自然環境の維持・保全と、日常利便施設等の適切な誘導・配置が求められている。

また、観光客等と地元住民との交流によるにぎわいの創出が求められている。

③住民参加型のまちづくりの推進に向けた環境整備

少子高齢化やライフスタイルの多様化により、市民・事業者・NPO・行政等の協働によるまちづくりの重要性が高まっている。こうした多様な主体が積極的にまちづくりに参画できる仕組みや、人々が自由に交流できる場の提供等が必要となっている。

(2)課題の要因とサイクル

まちづくりの課題には、少子高齢化による人口減少や、地域コミュニティの希薄化によるまちなぎわいや魅力の低下など、様々な要因が複雑に連鎖し合っている。なかでも、まちづくりにおいては「住民が主役」であり、その地に住む人がいるからこそ「まち」が成り立つという点を踏まえると、「人口減少」が最も深刻な課題であると考えられる。

しかしながら、人口減少は本市のみならず全国的な社会問題となっており、本市の「人口ビジョン」における様々なシミュレーションの結果からも、人口減少を免れることは非常に難しい状況にある。そこで、本マスタープランでは、人口減少下の人口規模に適応しつつ、持続可能なまちづくりを実現するための取り組みが必要と考える。

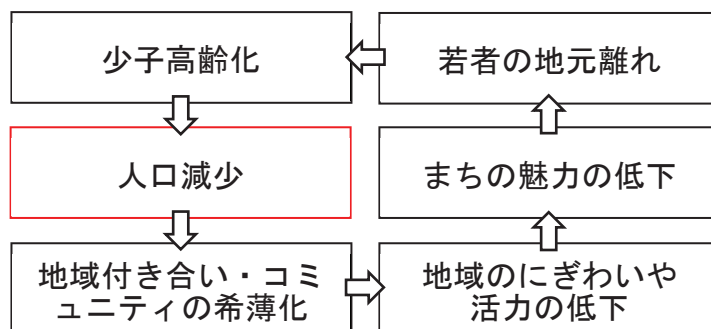


図4-1 課題の要因とサイクル